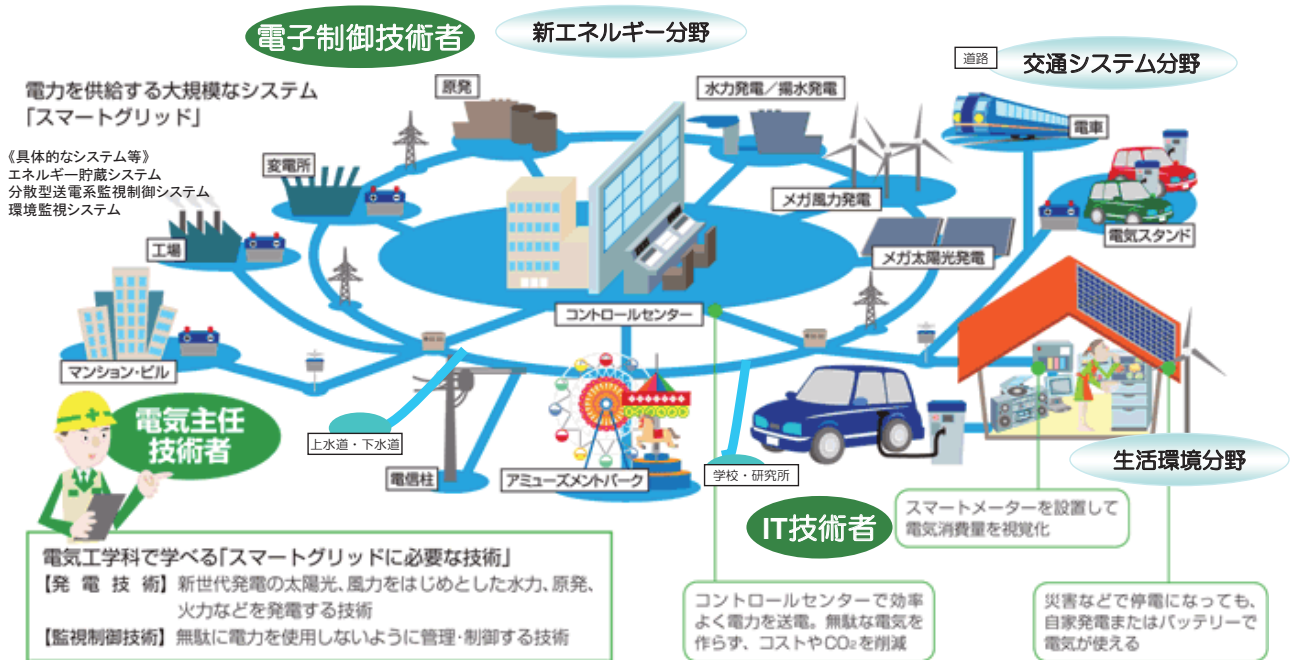


(参考) 再生可能エネルギー、スマートグリッド分野における技術者養成に向けた取組 (例)

太陽光発電をはじめとした発電技術や、IT技術を利用した需給双方の電力を供給するシステムである、新たな次世代電力網「スマートグリッド」構築に必要な技術者を育成するため、①短期人材育成コース(電気工事士等の資格を有する社会人向け再生可能エネルギー等)を複数校で試験導入、②スマートグリッド導入に対応する新たに必要な電気制御システム構築や環境ビジネスに必要な高度な知識・技術を修得する中長期的な人材育成コースの開発・実証を支援。

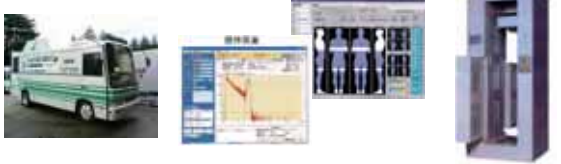


(参考) 福島安心・安全に貢献できる人材育成 (例)
【放射線工学分野】

大気、土壌、食物等の放射線測定に必要な正確なデータ解析・分析を行う専門人材を育成。
行政・医療機関・大学等と連携し、地域の安全・安心を確保する取組を実施。

- 《教育の内容》
- ◇土壌・食品用放射線測定機器や各種サーベイメータ等機器を教材として実習。
 - ◇放射線に関する正しい知識の習得と放射線測定の実務及び装置の取り扱いや安全管理の能力(放射線取り扱い主任者)国家資格の取得)
 - ◇電気工事に関するカリキュラムも導入(電気工事士・危険物取扱者等関連資格の取得)
- 《附帯事業》
- ◇放射線計測関係機器の導入による、地域における検査協力
 - ◇土壌・食品等の検査による情報発信

車載型ホールボディカウンタ



環境用試料放射能測定装置



- 《活躍の場》
- ・放射線測定機器メーカー・商社・代理店
 - ・自治体等公的機関
 - ・建設業界
 - ・電気設備関連企業
 - ・産業廃棄物関連企業 他

(参考) エコツーリズム & グリーnturizmによる復興に必要な人材育成 (例)
【観光・食・農林水産業分野】

岩手から福島までの南北をつなぐ自然歩道を軸に、東北の資源(自然、郷土料理、伝統芸能・工芸、漁業・農業体験等)活用した観光振興や、水産加工業の復興を担う専門人材を育成。

＜南北をつなぐ自然歩道 (福島県相馬市松川浦～八戸市黒島)＞

- ◇沿岸の自然と生活・産業・文化をつなぐ
- ◇災害時には、住民や観光客の防災経路として活用
- ◇津波の経験を語り継ぐ被災の記録・学びの場

⇒「歩く」+α(観光資源)

- 【観光資源】
- ・郷土料理(食べる)
 - ・郷土料理(作る)
 - ・伝統芸能・工芸
 - ・漁業体験
 - ・農業体験 etc.



農業漁業観光人材・食農ビジネス人材(6次産業人材)の育成

三陸復興国立公園
長距離遊歩道

雇用対策

観光資源
(地元水産物を使用した郷土料理等)

宿場

- 《活躍の場》
- ・道の駅(農産物販売、工芸品販売)
 - ・農家レストラン(地産地消:山の幸・里の幸)
 - ・漁師レストラン(地産地消:海の幸)
 - ・郷土料理教室(料理体験)
 - ・民宿(宿泊)
 - ・体験交流館(農業体験、漁業体験) 他

